

神奈川県教育委員会教育長 殿

学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

学校名	県立永谷高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制
-----	----------	------------------	-----

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、未来を拓く力と自主自律の気概をもつ人材の育成をめざし、規律ある高校生活の確立と主体性の育成、社会性を育む教育の推進に取り組んできた。また、生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ態度を養うことをめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組んできた。

今後も引き続き、学校全体で「確かな学力育成推進校」として研究開発に取り組み、その成果を地域の県立高校に様々な機会を設けて普及する。

2 学校教育目標

【教育目標】

知性の高い、情操豊かな、心身共に健康な、そして未来を拓く力と、自主自律の気概を持つ人間の育成を図る。

【教育方針】

- (1) 基礎学力の充実と個性の伸長を図る
- (2) 自律の精神の涵養を図る
- (3) 情報化社会に適応できる人間を育成する
- (4) 人間尊重の精神と平和を愛する精神の涵養を図る

【育みたい生徒像】

「確かな学力」と「自分と他人を大切にし、平和を愛する、人間尊重の精神」を持った知性と感性のバランスのとれた人材の育成

3 計画策定時点での課題

○「確かな学力育成推進校」として、学習面においては、国語・数学・英語の授業を中心に「学び直し」を行い、将来に向けて希望する進路を実現できるよう「進路実現プロジェクト」を継続し、さらなる講座数の拡大と参加率の向上を目指す。

○生活面においては、授業規律の徹底や、服装、頭髪、遅刻指導等きめ細かな生活指導や、問題行動の早期発見・早期対応により「温かくかつ厳しい毅然とした生活支援」を推進しているが、生徒の行動に関する近隣からの意見も多く、生徒指導上の課題が大きい。

○自己肯定感が低く、勉強や部活動に意欲的に取り組む生徒は少ない。部活動加入率は30%にも届かず、部活動の活性化が課題である。

○地域との交流は清掃活動やイベントなどに生徒やPTAが参加するなど盛んであるが、さらなる生徒の参加率の向上を目指す。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒一人ひとりの学習ニーズに応じた多様で柔軟な教育課程編成及び確かな学力の育成を図るため組織的な授業改善に取り組む。 ②基礎・基本の定着に向けて学び直しや少人数授業を積極的に取り入れるとともに、様々な学習支援の方法について研究を進め、生徒一人ひとりに向き合い社会に対応できる力を培うことが出来る教育実践に取り組む。 ③学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な活動を通じて、積極性を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒による授業評価の結果分析を、教科横断的に協議する。 ②学び直しの教科における取組や、その達成状況を授業観察等で共有する。生徒の学習ニーズを把握し、それに応じた講座の設定をする。また ICT 等を活用し生徒の自学自習への動機づけを行う。 ③学校行事や生徒会活動の広報を充実させ、生徒の積極的な参加を促す。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒理解に基づく「温かくかつ厳しい毅然とした生活支援」を目指し、教育相談等個に応じた支援体制の充実を図る。 ②部活動の積極的な参加を促し、活動を通じて、自主自律の精神や責任感、連帯感を涵養する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①規範意識の醸成を目指し、全職員の共通理解のもと、生活支援体制を構築する。校内だけでなく、外部機関との協力により、生徒個々に応じた支援体制を構築する。 ②部活動や同好会活動を充実させ、参加率を高める。
3	進路指導・支援	<p>○生徒一人ひとりが、生涯にわたる多様なキャリア形成を見据えて、「やりたい」「できる」という前向きに自分を捉える生徒の育成を目指し、進路指導の充実を図る。</p>	<p>○総合的な学習の時間やLHRを中心として、あらゆる教育活動においてキャリア教育を充実させる。</p> <p>○生徒一人ひとりが主体的に進路を決定する自己を振り返り、強みや課題を認識し、自分の将来を主体的に選択できる力・態度を涵養するために、3年間にわたる系統的なキャリア教育と進路指導を行う。</p>
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ①地域との協働を推進し、地域に貢献し信頼される学校づくりを進める。 ②ボランティア活動への参加を拡大し、社会性や思いやりの心を育み自己肯定感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①学校運営協議会の地域連携部会の活動を充実させる。 ②地域イベントの広報を工夫し、生徒・教職員の参加者の拡大を図る。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ①「生徒」「保護者」「教職員」の三者が誇れる学校作りを目指し、環境美化の観点からさまざまな課題改善に取り組む。 ②教員が生き生きと働ける職場とし、ワークライフバランスを推進するために教員の働き方改革を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①各クラスの清掃や整理整頓など環境美化に努め、また、PTAと連携し校内美化に取り組む。 ②学校閉庁日の設定や年休を取得しやすい環境を目指し、校務の効率化を促進し、学年・グループ等の連携により長時間勤務の是正を目指す。